

## 故障かなと思ったら…

故障かなと思われる症状が起こった時は、まずヒーターのヒューズボックス及びヒーターの各種コネクターの接続が正常且つ安全であるか点検し、再度ヒーターの始動を試みてください。  
万一故障が発生した場合、**調整ダイヤルの作動表示灯が点滅**します。また、ユニ/マルチコントロールが装備されている場合は、**ディスプレイ上に故障コード**が表示されます。



### ■ 調整ダイヤル作動表示灯(緑)の点滅パターン例

○2回点滅の場合… ☆☆☆☆☆…●… ●… ☆☆☆☆☆…●… ●…  
(短い信号が5回点滅後、長いパルス信号が2回点滅するパターンの繰り返し)

●次に、ダイヤル作動表示灯の点滅回数別やディスプレイ上の故障コード別の症状とその対処方法を下記に紹介しますので処置を試みてください。

点滅回数	表示コード(H)	故障内容	対処方法	
0回	01/07/11/12/ 18/81/91/92	同じ故障コードが連続して発生 又はコントロールユニットの不良	ベバスト認定店にご相談ください	
1回	02/82	スタートの失敗	ヒーターのスイッチをオフにし、2秒以上待ってから再度スイッチをオンにしてください	
2回	03/83	燃焼中の消炎	ヒーターのスイッチをオフにし、バッテリーを充電又は交換後再度スイッチをオンにしてください	
3回	04/84	低電圧または過電圧	ヒーターのスイッチをオフにし、バッテリーを充電又は交換後再度スイッチをオンにしてください	
4回	05	炎検知不良	ベバスト認定店にご相談ください	
5回	1A/9A	フレームセンサーのショート 又は断線(ガンリン用のみ)		
6回	14/94	温度センサーのショート又は断線		
7回	08/88	燃料ポンプのショート又は断線		
8回	09/15/89	燃焼空気ファンのショート又は断線		
9回	19/99/0A/8A	グロープラグのショート又は断線	ベバスト認定店にご相談ください	
10回	06/17	オーバーヒート		空気吸入口及び温風吹出口が詰まっていないか点検する。ヒーターのスイッチをオフにし、ヒーターを冷却後再度スイッチをオンにしてください
11回	1B/AB	オーバーヒートセンサーの ショート又は断線		
12回	07	故障ロックアウトモード		
14回	97	オーバーヒートセンサーの位置不良		
15回	9B	温度調整ダイヤルノブ不良	ベバスト認定店にご相談ください	

※F13の故障コードはありません。



エアヒーターから黒煙が出た場合は、ヒーターの燃焼用吸気管又は排気管の詰まりが原因です。ヒーターを停止させ、燃焼用吸気管及び排気管を点検し、詰まりものを取り除いてください。

以上の対処を試みても燃焼しない場合は、ベバスト サーモアンドコンフォート ジャパン指定のサービスショップ又はお買上げの販売店へお問い合わせください。

ベバスト サーモアンドコンフォート ジャパン株式会社

本ガイドは2019年1月現在のものです。予告なく変更する場合があります。

# ベバスト・ヒーター AT2000STC **かんたん! ガイド**

## ご使用上の注意

ヒーターの吸入口と吹出口の前後に、**障害物がないことを確認**してください。

エンジンを掛けずにヒーターを使用する時は、**テレビなど車載電装品の併用を避けて**ください。

ご使用にならない時期(夏季など)でも、**ヒーターの作動を1ヶ月に一度、10分程度行ってください。**  
その際は各コントローラー共に**最大温度35℃に設定**してください。

ヒーターの上に**ものを置いたり、水をかけたりしない**でください。  
またヒーターを拭く時は、**良く絞った布を使用**してください。

**ガソリンスタンドや燃料貯蔵庫付近では使用しない**でください。



スイッチオフ後、本体冷却のため約2分間ファンが作動します。そのため**スイッチオフ後に再始動するには5分程度**かかります。

詳しくは取扱説明書をお読みください。

● 表面の「ご使用上の注意」をお守りいただき、安全快適にお使いください。

ベバスト・ヒーター AT2000STCの特長

- ・ アイドリングストップの状態ですら室内を快適な温度に暖める、軽量でコンパクトなヒーターです。
- ・ 設定した温度に達すると、暖房出力を自動的に制御して車内を快適な温度に保ちます。
- ・ 新型燃料ポンプにより静粛性が向上、夜間の運転に優れております。
- ・ エンジンのアイドリング時の暖房に比べて、燃料消費量は約1/10と経済的です。
- ・ エンジンのアイドリング時に比べて、排出ガスも微量で環境に負荷をかけません。
- ・ オーバーヒートの場合は、自動的に燃焼がストップするコントロール機能付きの安全設計です。

● 調整ダイヤルの操作方法

● 調整ダイヤルの概要



● スイッチのオン/オフ

スイッチオン

1. ダイヤルノブを時計回りに廻す。
2. ダイヤルノブの ◀ (作動表示灯)が緑色に点灯。正常作動を示す。
3. 設定温度範囲は5~35℃です。

スイッチオフ

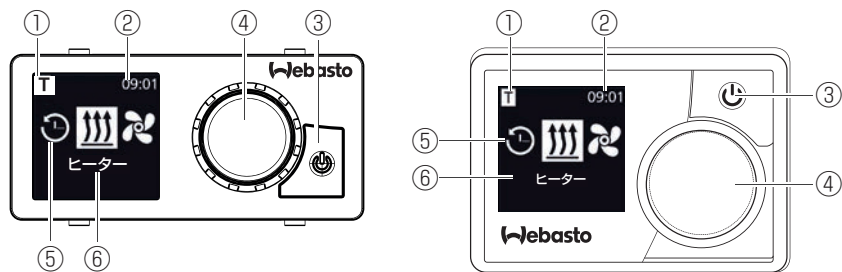
1. ダイヤルノブを反時計回りで0まで戻す。
2. ダイヤルノブの ◀ (作動表示灯)が消灯。

⚠ ◀ (作動表示灯)の点滅は故障ですので、点滅回数を確認後、ダイヤルノブを0まで戻してください。

● ユニ/マルチコントロールの操作方法

● ユニ/マルチコントロールの概要

温度コントロールパネルとメニュー構造



- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| ① タイマー、高地、ADR*セット済表示   | ④ 制御ボタン       |
| ② 時刻                   | ⑤ シンボル メニュー項目 |
| ③ ステータス表示付きクイックスタートボタン | ⑥ 表示 メニュー項目   |

\*タンクローリー車などの危険物輸送車両の場合に設定されます。

● ユニ/マルチコントロールのシンボル

ユニ/マルチコントロールは制御ボタン(左ページ④)を左右に回して各シンボルを選択し、制御ボタン④を押すことでシンボルメニューを決定します。左いっぱいに戻ると戻る ◀ が表示されますので、これを選択することで前画面に戻ることができます。

	メニュー 設定		左		暖房モード標準
	システム情報		右		メニューヒーター
	スタート		戻る		ファン風量(ステップ1-4)
	タイマー追加セット		日中/夜間		サービス - 工場に連絡してください
	メニュータイマー (セット時刻)		曜日		注意
	タイマーを作動させる	<b>AM PM</b>	12時間表示		エラー報告
	タイマー作動を停止する		時刻		メニューベンチレーション
	タイマーを消去する		言語	<b>ADR</b>	ADR
	全タイマーを消去する	<b>°C °F</b>	温度単位		低電圧
	リセット	<b>OK</b>	確認の際のシンボル		

● スイッチのオン

クイックスタート

クイックスタートボタン(左ページ③)を押してください。設定で決められた温度(5~35℃)、OFFまでの時間(∞又は10~60分)でスタートします。燃焼中に温度の上下調整、又は燃焼残り時間を減らすことができます。

スタート

シンボルメニュー(左ページ⑤)のヒーターを選択し、制御ボタン(左ページ④)を押してください。温度と燃焼時間をスタートの度に予め設定(温度5~35℃、OFFまでの時間∞又は10~60分)することができます。

● タイマーの設定

タイマーのセット

メニュータイマーを選択/決定し、タイマー追加を選択/決定します。スタートの曜日(月~日)を選び、スタート時刻と終了時刻を選びます。終了時刻はスタート時間から10分後~24時間後まで、5分毎に設定可能です。

タイマー設定数

1日3個まで、1週間で最大21個まで可能です。

稼働数

設定されたタイマーをONに出来る稼働数は、RV用で21個すべて、トラックでは1個のみ可能です。